

育むみどり

発行者 滋賀北部森林組合 本所 〒521-0225 滋賀県米原市市場 438 ☎0749-55-8008
<http://www.lumber-base.jp> 東浅井事業所 〒526-0244 滋賀県長浜市内保町 2535 ☎0749-74-0276

平成 20 年春の 展示即売会

本所では
**五月三十一日(土)と
 六月一日(日)の両日**
 事務所南側貯木場内で
 東浅井事業所では
六月七日(土)のみ
 事務所前で開催

木材価格の低迷が続き、森林所有者の皆さんからも林業に対するあきらめの声が多く聞かれる昨今ですが、国においては環境対策予算として林業に対しては新規事業の創設や従来からの森林整備に対する事業についても積極的な予算を配分されています。

私達林業関係者も国の姿勢に因應するべく体制を整えているところですが、滋賀県においてはご承知のとおり財政再建プログラムに取り組み、国の予算配分に十分応えられないという事情があり、県内の森林組合系統としてもこれでは森林整備が十分できないことを訴えています。

こうした情勢の中、限られた予算の中で森林環境を継続していくために、これからの低コスト化を紹介いたします。

これからの 低コスト林業

低コストの第一歩

低コスト化を図るためには次のようないくつかの要件を満たす必要があります。

- ① **団地化**（森林整備の必要な森林を小地域の中でまとめて整備を進める。）
- ② **簡易な作業路網**（小型重機や高性能林業機械が通行可能な安価な作業路網の開設。）
- ③ **間伐率を上げて間伐回数**を減らす（従来の一回落ちり二十パーセント前後の間伐率から三十パーセント前



間伐率 40% で実施した間伐後の森林

後の間伐率に上げた間伐により、従来五年毎位で繰り返した間伐を八年から十年毎の間伐にして回数を減らす。）

こうした条件が整った所では列状間伐による間伐と、間伐材の搬出をして売却収益を上げて施業負担金の軽減効果を生むことも可能となつてきます。

もちろん間伐に対する補助金制度もありますし、作業路網整備の補助金制度なども有効に活用できるようになります。



グラップルによる間伐材の集材作

低コスト作業路

低コスト作業路とは、従来の林道や長期利用目的の作業路とは異なり、主として間伐材などを搬出する目的で重機や高性能林業機械を通行させるための道路で、極力林地を掘削する範囲を抑えて間伐によって立木の間が空いたところを通していくため、林地が荒れることも少ないことや、間伐の切り株なども路肩の土留めに使うことで路肩の決壊防止に役立っています。



路肩も安定している低コスト作業路



間伐林内に開設した低コスト作業路

こうして団地化された区域内に作業路網が出来上がると、いよいよ間伐材の搬出です。

間伐材は林内のあちこちに散在している丸太を集めてくるため、搬出用道路から五十m程度までの範囲が限界で、道路の両側で言えば幅百mの範囲を集材していくこととなります。

このため、大きな林地では上下百mの範囲内で並行した路網が必要になります。

滋賀県にはこうした林地用に高性能林業機械が準備され、森林組合等にリースで利用できるようになっていきます。

「高性能林業機械」

スイングヤーダー



スイングヤーダーはバックホウの先端に滑車を付けて機械本体にウインチを装備したもので簡易な集材機のような働きをします。集材機と異なり、架設や撤収が容易にできるため、林内の集材に威力を発揮しますが、長い距離の集材には不向きなため、間伐林内の集材に多く利用されています。

プロセッサ



プロセッサはバックホウの先端に、木材を掴んで決めた長さの位置で切断するチェンソーを備えた装置で、この機械を使うことで造材の安全性と能率を向上させます。

この装置では造材した木材の直径や長さのデータも機械が測定するため、人力による寸検集計が不要となり、山の土場で太さ別に集積して利用目的別に仕分けすれば現地土場での手間が大きく省力化できます。

フォワーダ



フォワーダは集積した素材をこの機械で掴んで積み込み、広い林道などのトラック積み込み場まで運搬する機械です。積載量も多くて走行速度がある程度まで上げられるため運搬時間が短縮され、集材した量が多い現場などで威力を発揮しますが、次の現場への移送には重機用の搬送車両が必要となります。

これに代わって、集材した量あまり多くない場合は次のような機械を使って林道のトラッ

クまで搬出する場合があります。

林内運搬車



林内運搬車(写真左側の機械)は積載できる量はフォワーダよりも劣りますが、狭い道路でも搬出してこることができ、機械も小型のため次の現場への移送も手軽にできるメリットがあり、前述の各種高性能林業機械と比較して本体価格も安価という点も含めて小規模な団地化の現場で搬出コストの低減に効果を発揮します。滋賀北部森林組合で

も通常はこの機械を利用して素材の運搬をしています。

びわ湖材で家づくり

以上のような方法で間伐材を中心に素材の搬出を行い、木材として利用することで二酸化炭素の固定化を進め、地球温暖化防止に貢献します。

また、森林組合では搬出した木材のトレーサビリティ確保のために「びわ湖材産地証明制度」に参加しています。

滋賀県では「びわ湖材で家を建てる」人を毎年募集しています。(木の香る淡海の家推進事業)

この事業では「びわこ材」で家を建てる人には柱材百本を上限として無償で提供されるもので、平成十九年度分はすでに締め切られています。平成二十年度も実施されます。

あなたもぜひ「びわ湖材」の杉・桧で家を建てませんか。木材の地産地消が地域の山を元気にします。

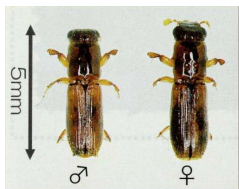
詳しいお問い合わせは「滋賀県木材協会」内の「県産木材活用推進協議会」まで。
ホームページは↓

<http://www.biwa.ne.jp/~s-mokkyo/>

ナラ類の紅葉？

ここ数年夏を過ぎた頃になると「里山の広葉樹が赤くなっている」という問い合わせが森林組合に寄せられます。

これは、六月下旬から八月に「カシノナガキクイムシ」が大量に発生して、コナラやミズナラおよびアベマキなど実がなる木の幹に穿孔・寄生して、この時にカシノナガキクイムシが多量の「ナラ菌」という病原菌を樹体内に伝播させ樹木を枯らせたものです。



↑カシノナガキクイムシ



↑被害木の穿孔状態

「ナラ菌」は樹幹内で繁殖し「カシノナガキクイムシ」の餌となりませんが、同時に樹木に水切れ状態を起こして樹木を枯らしていきます。ただ、寄生された樹木の全てが枯損に至るわけではありませんが、単木の被害発生から三年目あたりで被害のピークを迎えて四年目以降は被害が終息していきます。

この被害でナラ類が枯れた林では林床に耐陰性の強い樹木が新たな林分を形成していきまますので、森林が裸地化することはありません。



右の写真は被害孔にツマヨウジを差したものです。写真のようにな一本の樹木に大量のカシノナガキクイムシが寄生しますが、被害の位置は地際から概ね高さが2m位までに集中します。

人権ひとくちメモ

最近是人権に関する用語にもカタカナのものが増えてきて、人権研修に参加機会の少ない人には内容が十分理解できないといったこともあるようです。

今回はそうした用語を少し紹介します。

[ステレオタイプ] 人権研修ではよく出てくる言葉です。これは「血液型がA型の人は〇〇」とか「滋賀県人は〇〇」などのように、一定のグループについて描く、型にはまった画一的なイメージのことをいいます。

[グループホーム] 住み慣れた地域で認知症高齢者が生き生きとして健康で明るい生活が送れるよう共同で生活する形態のことをいいます。

[ノーマライゼーション] 障害者等が、あるがままの状態での他の人々と同等の権利と機会を受けられるように共存していこうというものです。

[フィールド・ワーク] 学習テーマにもとづいて参加者が現地に出かけて行き、調査や聞き取りを行うことにより参加者の問題意識や主体的な参加を引き出すことのできる学習手法のことです。

[アサーティブネス] 自分の気持ちや考えを、その場にふさわしい方法で相手が納得できるように伝える自己表現・自己主張の方法のことです。

[アイスブレイキング] 学習を始める前の参加者の氷のように固い緊張感をときほぐすための活動のことです。

[エンパワーメント] その人が本来持っている力・エネルギーを取り戻し、自分の人生において自己決定をし、生き生きと社会参加して生きていくことをいいます。

[セルフ・エスティーム] 自分自身に肯定的な感情を持つこと、自分に自信を持つこと、自分が価値ある存在と感ずることをいいます。

人権研修は難しいことを話し合う場ではありません。みんなで身近な問題として考える場です。地域の人権研修にぜひ参加してみてください。

編集後記

正月以降は雪も無く、今年も雪の心配がいらないうか油断していたところに二月中旬の大雪警報と共に遅雪がやってきて、この雪も平成十七年十二月の雪のように非常に重い雪でした。

森林組合にも道路や民家近くにこの雪で折れたり根倒しになった木を始末する依頼が数件あり、改めて遅雪の威力を痛感しました。

山の杉や松の被害状況はまだ調査できていませんが、木起しなどの復旧が必要な場合はお気軽に森林組合へご相談下さい。

今回は、低コスト林業の紹介を中心に記事をまとめましたが、限られた補助予算の中で森林整備を進め、地球温暖化防止の一助と成すためには是非とも皆さんと共に取り組んでいかなければならない課題です。

今一度皆さんも山に思いを馳せて話題にして下さい。